



「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」 令和2年度 成果報告会



ONLINE

事前申込制 / 参加費無料

Zoomウェビナー参加で双方向のコミュニケーション

新たな社会における 防災の共通価値を創造するために 「励むべきこと」は何か

本成果報告会では、この一年間の首都圏レジリエンスプロジェクトの活動や成果を通じた産官学民連携の相互作用の現状を共有します。全体セッションでは、元TBSキャスター下村健一氏が、次年度に最終の5年目を迎える本プロジェクトにおいて「新たな社会生活における防災の共通価値を創造するために『励むべきこと』は何か」を、平田直プロジェクト総括と共に各研究者やデ活組織会員、視聴者も交えて議論します。

第1部 成果報告：デ活およびプロジェクトにおける本年度の成果と注目研究

第2部 全体セッション：新たな社会における防災の共通価値を創造するために「励むべきこと」は何か

2021.3.2 火 15:00-17:15
(14:45より中継を開始します)

シンポジウム参加者 事前申込登録ページ
<https://nied-forrdac-regist.smartcore.jp/>



YouTube LIVE でも同時中継

<https://www.youtube.com/c/DEKATSU>



オンライン開催中の中継スタジオ



下村 健一

平田 直



データ利活用協議会
Data use and application council for resilience
シンポジウム 2020-2021

災害時を想定した多元中継によるオンライン開催

プログラム

■ 15:00 はじめに 下村 健一（令和メディア研究所主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元TBSキャスター）

あいさつ ・ 文部科学省（研究開発局）
・ 平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）

第1部 成果報告

■ 15:20 デ活およびプロジェクトにおける本年度の成果と注目研究

① デ活「データ活用協議会の活動 ～分科会による共創のステージへ～」

古屋 貴司（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 統括運営 / 首都圏レジリエンス研究推進センター 地震レジリエンス研究推進室 室長補佐）
能島 暢呂（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ (a) 分担責任者 / 岐阜大学 工学部 教授）

② サブプロ(a)「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ利活用に向けた連携体制の構築」

上石 勲（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ (a) 統括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター 副センター長）
田村 圭子（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ (a) 統括 / 新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授）

③ サブプロ(b)「官民連携による超高密度地震動観測データの収集・整備」

青井 真（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ (b) 統括 / 地震津波火山ネットワークセンター センター長）
酒井 慎一（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ (b) 統括 / 東京大学 地震研究所 教授）

④ サブプロ(c)「非構造部材を含む建造物の崩壊余裕度に関するデータ収集・整備」

梶原 浩一（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ (c) 統括 / 地震減災実験研究部門 部門長）
西谷 章（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト サブプロ (c) 統括 / 早稲田大学 理工学術院 総合研究所 特任研究教授）

第2部 全体セッション

■ 16:35 新たな社会における防災の共通価値を創造するために「励むべきこと」は何か

下村 健一（令和メディア研究所 主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元TBSキャスター）
平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）
および、第1部の出演者に加え、視聴者も交えて議論

■ 17:10 むすび 下村 健一（令和メディア研究所 主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元TBSキャスター）



首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト / データ活用協議会（デ活）

首都圏レジリエンス研究推進センターは、以下に掲げる3つのサブプロジェクトの推進、データ活用協議会（デ活）の運営を行ない、これらの有機的連携を通じて、官民一体の総合的な事業継続や災害対応、個人の防災行動等に資するデータの収集・整備をめざします。

サブプロ(a)
sub
a

首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ利活用に向けた連携体制の構築

サブプロ[a]では、(1)被害の拡大を阻止し、都市機能の早期復旧・復興を実現する技術的課題抽出、データ活用策の検討をするとともに、(2)データ利活用に向けた民間企業や関係機関等との連携を模索する（社会科学を中心とした防災研究）。16の研究機関・大学（25名）と1つの企業・団体（1名）が研究開発を実施。

統括：田村 圭子 新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授
上石 勲 防災科研 首都圏レジリエンス研究推進センター 副センター長

サブプロ(b)
sub
b

官民連携による超高密度地震動観測データの収集・整備

サブプロ[b]では、(1)官民連携超高密度観測データの収集・整備と、(2)マルチデータインテグレーションシステムの検討を行う（理学を中心とした防災研究）。3つの研究機関・大学（29名）と1つの企業・団体（1名）が研究開発を実施。

統括：酒井 慎一 東京大学 地震研究所 / 情報学環・学際情報学府 教授
青井 真 防災科研 地震津波火山ネットワークセンター長・総括主任研究員

サブプロ(c)
sub
c

非構造部材を含む建造物の崩壊余裕度に関するデータ収集・整備

サブプロ[c]では、(1)非構造部材を含む崩壊余裕度に関するデータ収集・整備、(2)地盤-建物系のセンシングデータの収集・整備を行う（工学を中心とした防災研究）。12の研究機関・大学（31名）と3つの企業・団体（4名）が研究開発を実施。

統括：西谷 章 早稲田大学 理工学術院 総合研究所 特任研究教授
梶原 浩一 防災科研 地震減災実験研究部門（兵庫耐震工学研究センター） 部門長・総括主任研究員

お問い合わせ

防災科研 首都圏レジリエンス研究推進センター
古屋・郡司・三條・小野 E-mail : info_for_r@bosai.go.jp

データ活用協議会ホームページ
<https://forr.bosai.go.jp/duc/>

